



平成 23 年 4 月 27 日

各 位

東京都港区芝 5-33-1
会社名：森永乳業株式会社
代表者名：取締役社長 古川 紘一
(コード番号：2264)
問合せ先：取締役兼常務執行役員広報部長
田形 均
(TEL(03)3798-0126)

特別損失の計上および通期業績予想数値の修正に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 4 四半期において保有有価証券の評価損および東日本大震災関連損失を特別損失に計上いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

また、これに伴い平成 22 年 11 月 5 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の通期の連結業績予想数値を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 保有有価証券の評価損について

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復の見込みがあると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上することといたしました。

平成 23 年 3 月期第 4 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
平成 23 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額（=A-B）	2,583 百万円	2,634 百万円
(A) 平成 23 年 3 月期通期（平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	4,687 百万円	4,738 百万円
(B) 直前四半期（平成 23 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	2,103 百万円	2,104 百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

2. 東日本大震災関連損失について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災において、当社グループの従業員に人的被害はありませんでしたが、当社および当社の子会社の東北森永乳業株式会社を中心に、たな卸資産や固定資産などが被災いたしました。また、震災直後から、被災の復旧に向けた活動および被災地への支援活動などを継続的に実施してまいりました。これらの被災に対する損失見積額約 16 億円を特別損失として計上いたします。特別損失の主な内訳は以下のとおりです。

内 容	計上金額
たな卸資産減失損	6 億円
固定資産減失損	1 億円
固定資産現状回復費用	3 億円
被災者・被災地への義援金および物資支援等	3 億円
その他	3 億円
合 計	1 6 億円

3. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

平成 22 年 11 月 5 日に公表いたしました通期の連結業績予想数値を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	588,000	17,700	17,500	6,000	23.91
今 回 修 正 予 想 (B)	583,000	18,900	18,700	6,100	24.31
増 減 額 (B - A)	△5,000	1,200	1,200	100	
増 減 率 (%)	△0.9	6.8	6.9	1.7	
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期)	585,116	17,102	17,018	8,017	31.78

(修正の理由)

売上高につきましては、主に震災の影響により前回予想数値を下回る見込みです。営業利益、経常利益につきましては、下半期における営業活動の効率化や生産の合理化等により前回予想値を上回る見込みです。当期純利益につきましては、震災に関する特別損失の計上はありましたが、経常利益の増加等により吸収し、前回予想数値を若干上回る見込みです。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上